

会 議 概 要

会議の名称	令和3年度第4回社会教育委員会議
開催日時	令和4年1月26日(水) 14時00分 開会 16時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センター TOM 大ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、平野委員、安瀬委員、杉原委員、村田委員、毛利委員、渡辺委員、鈴木委員、工藤委員、菅委員 12名 教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査、土佐主査、北村主査、鈴木主事
欠席者名	武藤委員、三橋委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議事 議案第1号 第2次社会教育中期計画のふりかえりについて 5. その他 6. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和3年度第4回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和4年1月26日(水) 14時00分～16時00分

2 会 場

湧別町文化センターTOM 大ホール

3 会議及び用務

第4回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～深谷、山本、梅田、平野、安瀬、杉原、村田、毛利、渡辺、

鈴木、工藤、菅 各委員 12名

欠席～武藤、三橋 各委員 2名

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査

土佐主査、北村主査、鈴木主事

5 結果要旨

1. 開 会
2. 深谷委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事 (深谷委員長による進行)

○議案第1号 第2次社会教育中期計画のふりかえりについて

議事進行前に平野委員より社会教育の必要性等について、個別にまとめた文書の提出があり、社会教育委員、教委にて共有を行った。

議事については、第3回社会教育委員会議より引き続き、第2次社会教育中期計画のふりかえりについて、第3回社会教育委員会議案18ページから協議を行った。

<以下質疑応答>

(平野委員) 配布した文書は、中期計画を策定するにあたり自分なりに社

会教育について検討してみたことを記載している。皆さんと共有できればと考える。内容については、社会教育の必要性を「ドキドキ」の提案と表現している。社会教育として、ドキドキするような気持の高鳴る行事の提供と社会教育の熱をどう伝えていくかが重要なのではないかと考えている。

【青年教育の現状と課題・推進目標・推進項目】

資料P 18～P 19

(深谷委員長) 成人年齢の引き下げに伴い、何か変わるのか。

(坂本課長) 民法の改正により成人年齢が18歳に引き下げとなるが、湧別町で実施する成人式は、「20歳の集い」と名称のみを改め、これまでどおり対象者を20歳として実施する。

(深谷委員長) 青年団活動について活動状況はどうか。

(渡辺主査) 湧別青年団体協議会では、毎年2月に雪中ドッジボールの企画など自主的な活動を活発に行っている。今年は2月5日(土)に予定していたが、コロナにより中止となっている。

(平野委員) 学習環境づくり関係で、湧別青年団体協議会のような不特定多数の目的を持った集団を現在の若い人たちが自主的に立ち上げるのは難しい。立ち上げるためには目的が必要であり、支援するにしてもニーズの把握が必要。

(工藤委員) 漁協の青年部に所属しているが、青年部の人数も減少している。事業を行うにしても0から企画、運営は本職が漁師であることから時間的にも厳しい。ホタテを出店で焼いてほしいといった、具体的なオファーがあれば協力できると思う。学習環境づくり関係から、若い女性の社会参加について、若く結婚して子供がいる家庭が多いように思う。育児の関係で社会教育事業に参加できない家庭もあり、親子

で参加できる事業があれば女性の社会参加の推進につながるのではないか。

(梅田委員) 先ほど工藤委員が言っていたオファーについて、どの団体もオファーがあれば協力してもらえらると思う。各団体が協力参加できるような事業を作ることが大事なのかと思う。

(菅委員) 少年教育まではイメージしやすいが、青年に関しては実態が見えないことから検討が難しい。実態が見えれば具体的な検討に繋がるのでは。

(安瀬委員) 現状のコロナの影響により活動が中々できないこと、年々指導者の数も少なくなっていくことなど、マイナスの要素を検証し事業を組み立てていくことが必要なのではないかと感じる。

(杉原委員) 昔は活発に各団体でも熱を持って活動を行っていたが、それを継続させるのが大変。そこのサポートも必要。

(渡辺委員) この会議の中にも若い人達に入ってもらい、直接話を聞いたりとできればと考える。今青年達が何を求めているかリサーチする必要があるのではないか。

(毛利委員) 女性の目線としては、一緒に共有できる行事がいいと感じる。実際にその場所に出向いて、行事をとおしてコミュニケーションを取ること、熱のあるコミュニティの作成に役立つと思う。リモートでは無理があると感じる。また、渡辺委員が言ったように、若い人たちの意見も取り入れることで私たちの考えと違う部分も見えてくるのかと思う。

(山本副委員長) 学習環境づくりでリーダー養成とあるが、リーダーを育てて各組織を引っ張る人材を育てるというよりは、担い手を育成するという考えに変えた方がいいのではないかと考える。

【成人教育の現状と課題・推進目標・推進項目】

資料P20～P21

(平野委員) 私自身町内で生活をしている中で、活動している団体の現状が見えづらいと感じている。活動している団体もあるが、埋もれている団体や組織もあるのではないかと考える。積極的なPRが必要と考える。地域おこし協力隊が湧別町にはいるので、賛同いただき活動を広く周知できれば、横の繋がりを広げるチャンスになる。

(深谷委員長) 成人の人たちがこれまで学んできたこと、体験してきたことを下の世代に伝えていくこと、また、そういった場を作ることが大事と考える。

【高齢者教育の現状と課題・推進目標・推進項目】

資料P22～P23

(鈴木委員) 大勢の中が苦手、発言も躊躇してしまう。そういった高齢者の方も自由に気軽に発言、参加ができる場があればいいと感じる。

(渡辺委員) 大筋クラブの講師を何回か務めた。運動も大事だが、みんなで会場に集まり、コミュニケーションを取ることも必要と感じた。他者とのコミュニケーションにより社会との繋がりを感じられるのではないかと考える。

(平野委員) 高齢者であれば、「小さな歴史の回収」として地元の特化した歴史を集め、下の世代に伝えることができれば、一つ学びの場を作ることができるのではないかと考える。

(中島参事) 初めての人がまとまった話をいきなり誰かにするのは難しいと考える。

【芸術・文化活動と文化施設整備の現状と課題・推進目標・推進項目】

資料P 2 4～P 2 5

(深谷委員長) 学校際や文化祭の活動はコロナの影響を受けてどうなっているか。

(村田委員) 湧別高校の学校際は規模を縮小して実施。吹奏楽部による定期演奏会もさざ波で実施。各行事についてもやれる方向で検討はしている。

(菅委員) 小中学校も同じような形で規模縮小や人数の制限を行い実施している。

(梅田委員) 「良いもの見よう聞こう会」「企画委員会ビッグウェーブ」その他子どもたちへの体験事業など、湧別町には体験できる事業がたくさんあることを他の人にも知ってもらいたい。

【図書館活動の現状と課題・推進目標・推進項目】

資料P 2 6～P 2 7 ページ

(深谷委員長) 図書館の利用について、委員さんで思うことはないか。

(鈴木委員) 以前夜8時頃まで空いている時期があり図書館を利用していた。現在は、6時閉館なので利用するのが時間的に難しい。デジタル書籍を利用したりもするが、実際に紙に触れて、紙を読む体験は大事に思う。

(梅田委員) 遠隔地に居住する児童生徒等に対し送迎サービスの検討が必要と資料26ページ下段に記載があるが内容について聞かせてほしい。

(北村委員) 図書館から離れた児童に対して、図書館で本を読む機会を作ることを検討課題として中期計画に記載している。コロナ禍の前は夏休み、冬休みを利用して図書館から離れた富美小学校、開盛小学校、

芭露学園を対象に図書館ツアーとして学校から図書館までワゴン車で送迎を行い、図書館で時間を過ごしていただいた。

【その他】

・2月15日 9:30～11:20 地学協働活動推進会議

12:20～17:00 地域生涯活動実践交流セミナー

について資料を配布し案内。会場については、さぎ波にてZOOMにて実施。参加できる方がいれば1/27までに社会教育課へ連絡してほしい旨説明。

5. 閉 会 終了 16時00分

令和3年度
第4回社会教育委員会議案

と き 令和4年1月26日(水)
午後2時00分
と ころ 文化センターTOM 大ホール

<会議日程>

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

議案第1号 第2次社会教育中期計画のふりかえりについて

その他

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	安瀬 勇	上湧別屯田市街地		
	武藤 智和	開盛		
	杉原 武純	旭		
	村田 一平	中湧別南町		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	菅 済	富美		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査(社会教育担当)	渡辺 武文
社会教育G主査(文化振興担当)	土佐 信太郎
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	原 茉畝
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
図書館主査(湧別図書館)	高橋 結香梨
図書館主査(中湧別図書館)	北村 公樹
ふるさと館JRY・郷土館主任	林 勇介